



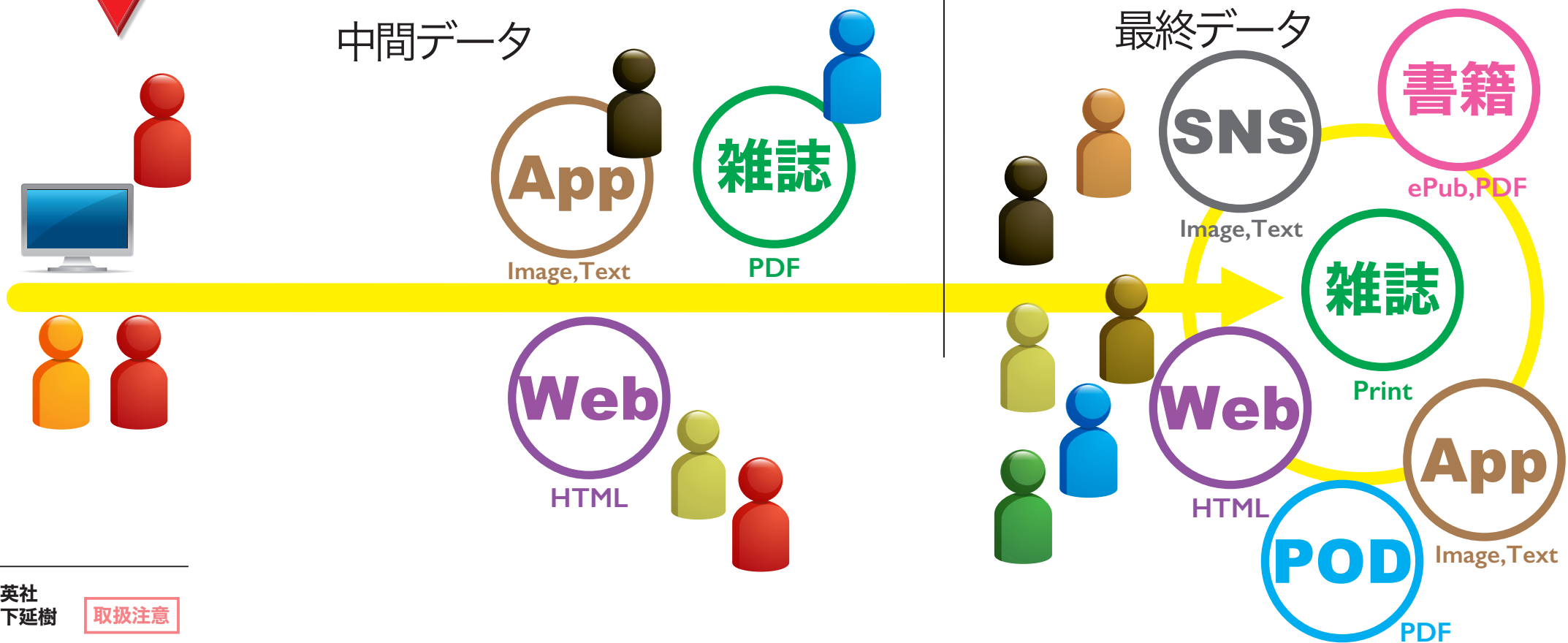
株式会社 集英社  
ブランドビジネス部  
松下延樹

誰が何をどこまで  
反発されても  
やらなければならないこと  
プレイヤーと  
業務の変化  
全体最適



中間データ

最終データ





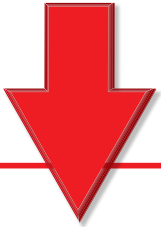
Print



アセットへの

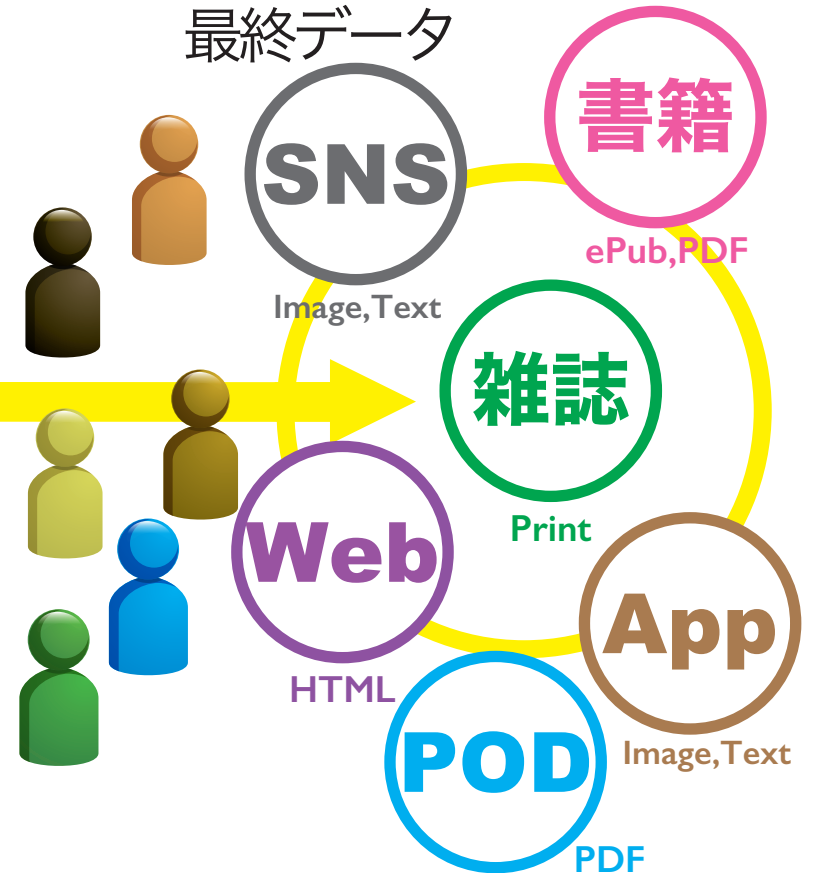
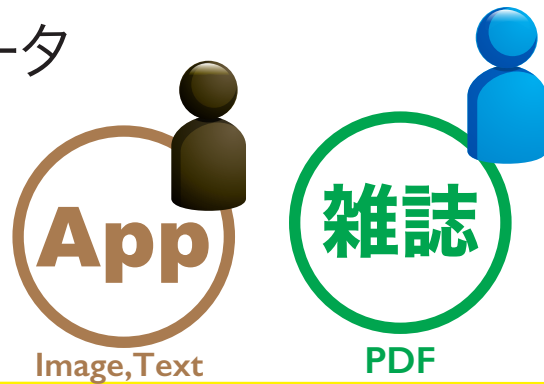
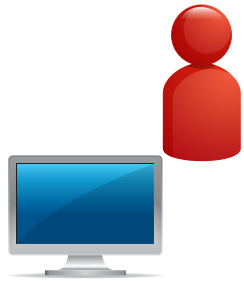
- ・アクセスが必要なプレイヤーの増加
- ・アクセス頻度の増加

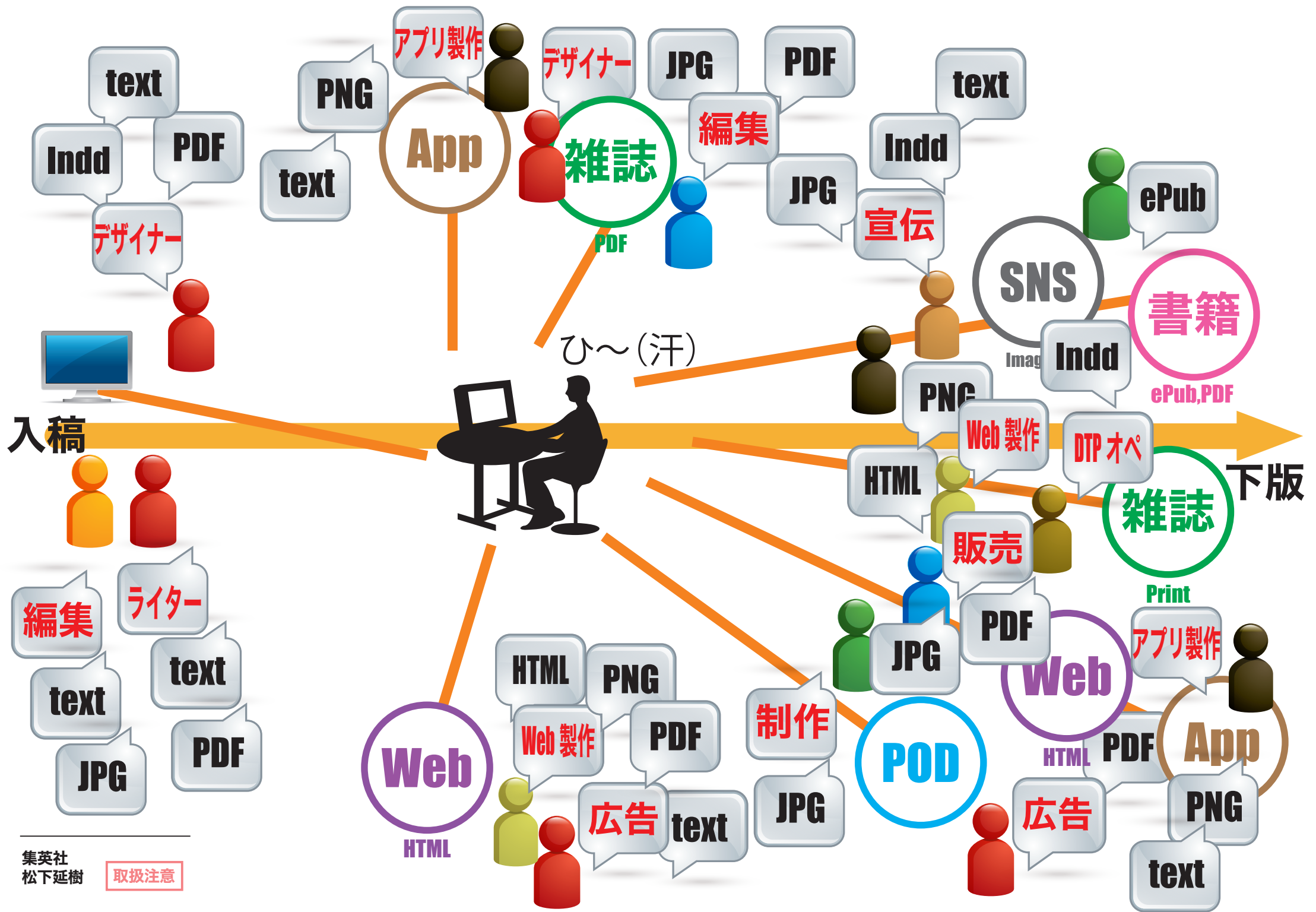
で、何が起きる？

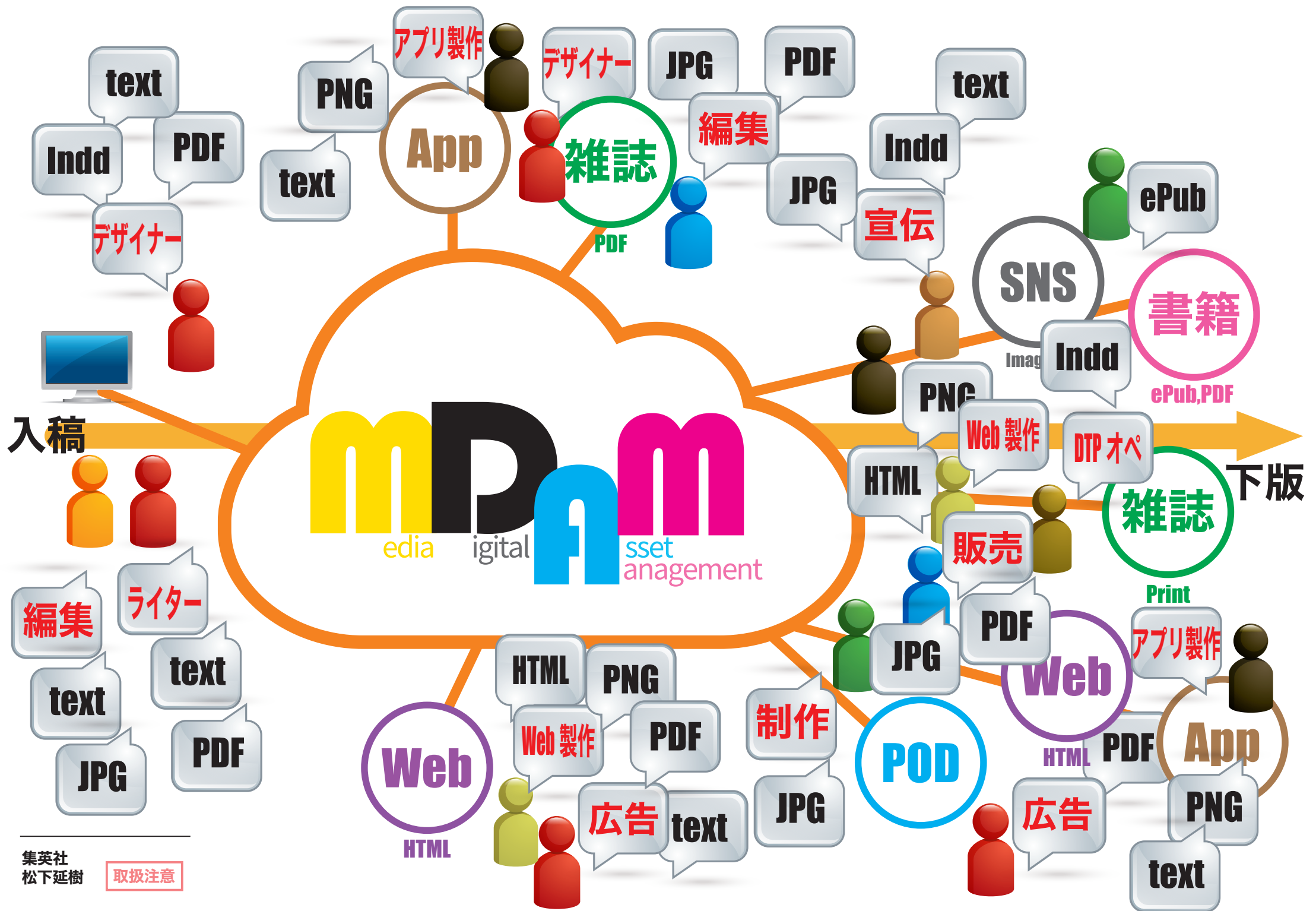


中間データ

最終データ







---

**1** 本誌データを台割に紐づけて  
自社で管理する。

---

資産の集約

**2** その時点で最新のデータに  
アクセスできる。共有できる。

---

アセット、  
進行の共有

**3** データを必要なファイル形式に  
コンバートして取得できる。

---

ブリッジしない  
マルチユース

**3** 複数媒体のワークフロー平準化

---

---

④ 外部ベンダーによる提供サービスは、細かい機能実装などには対応しない。

---

⑤ 自社で管理しているからこそ外部サービスと連携しやすい。

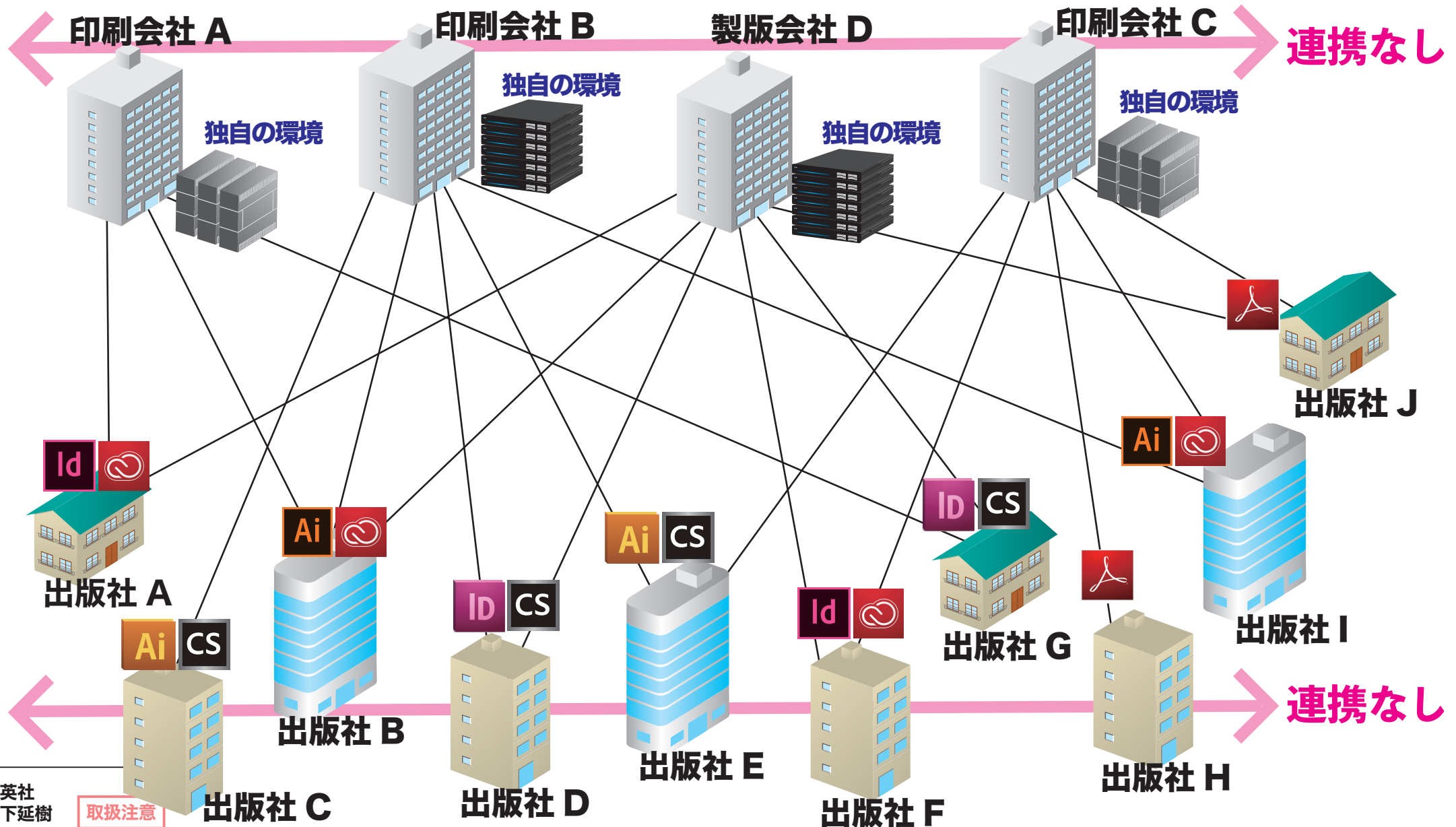
---

自分たちの“コア”を  
改めて考える。



出版社がめいめい作成・入稿したデータを  
印刷製版会社がめいめいのシステムで管理

→ どういう問題が起こるか



# 制作面では ...

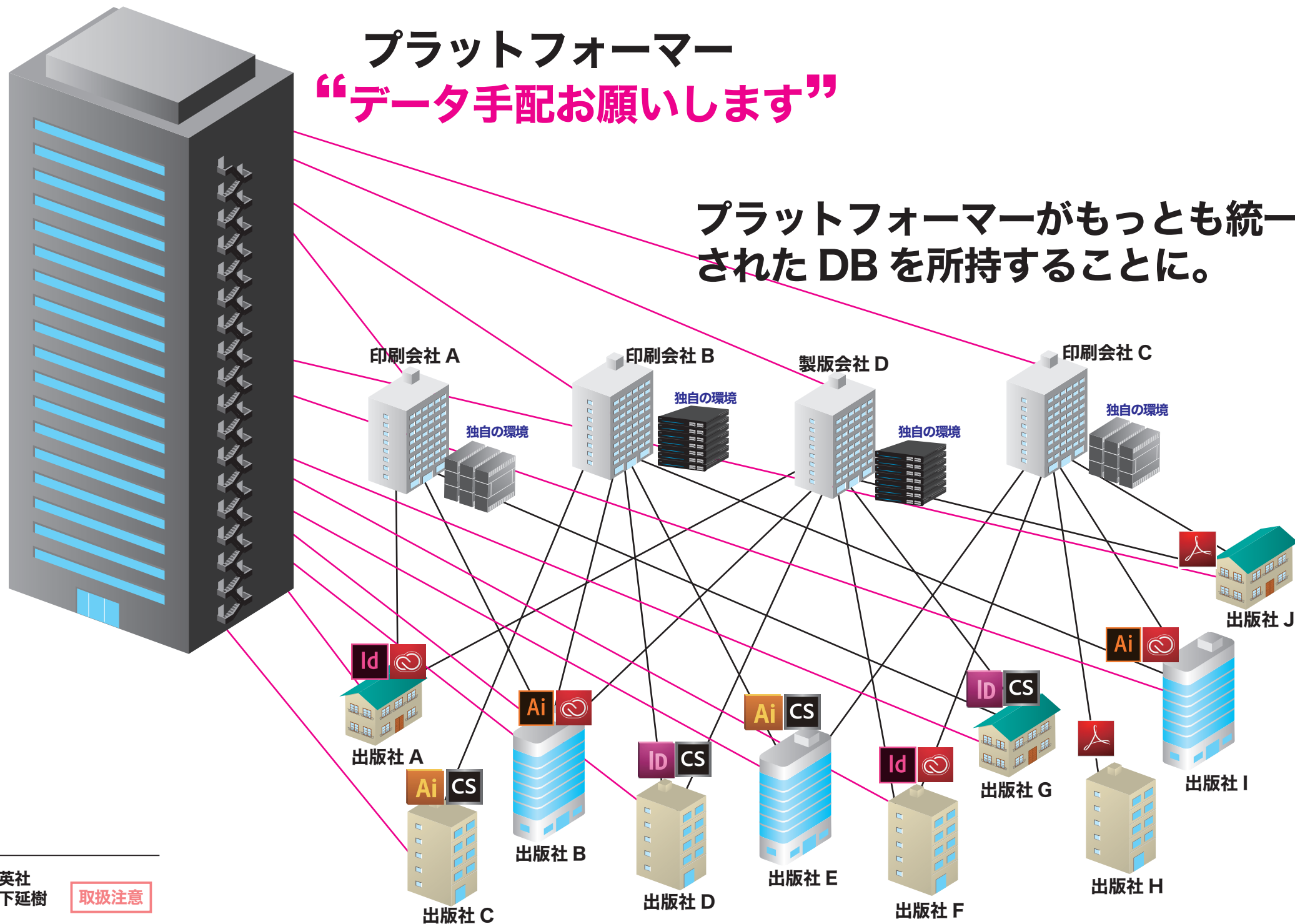
印刷製版会社がアプリケーションやそのバージョン、それらが乗る OS、マシンなど様々な環境を維持しなければならない。

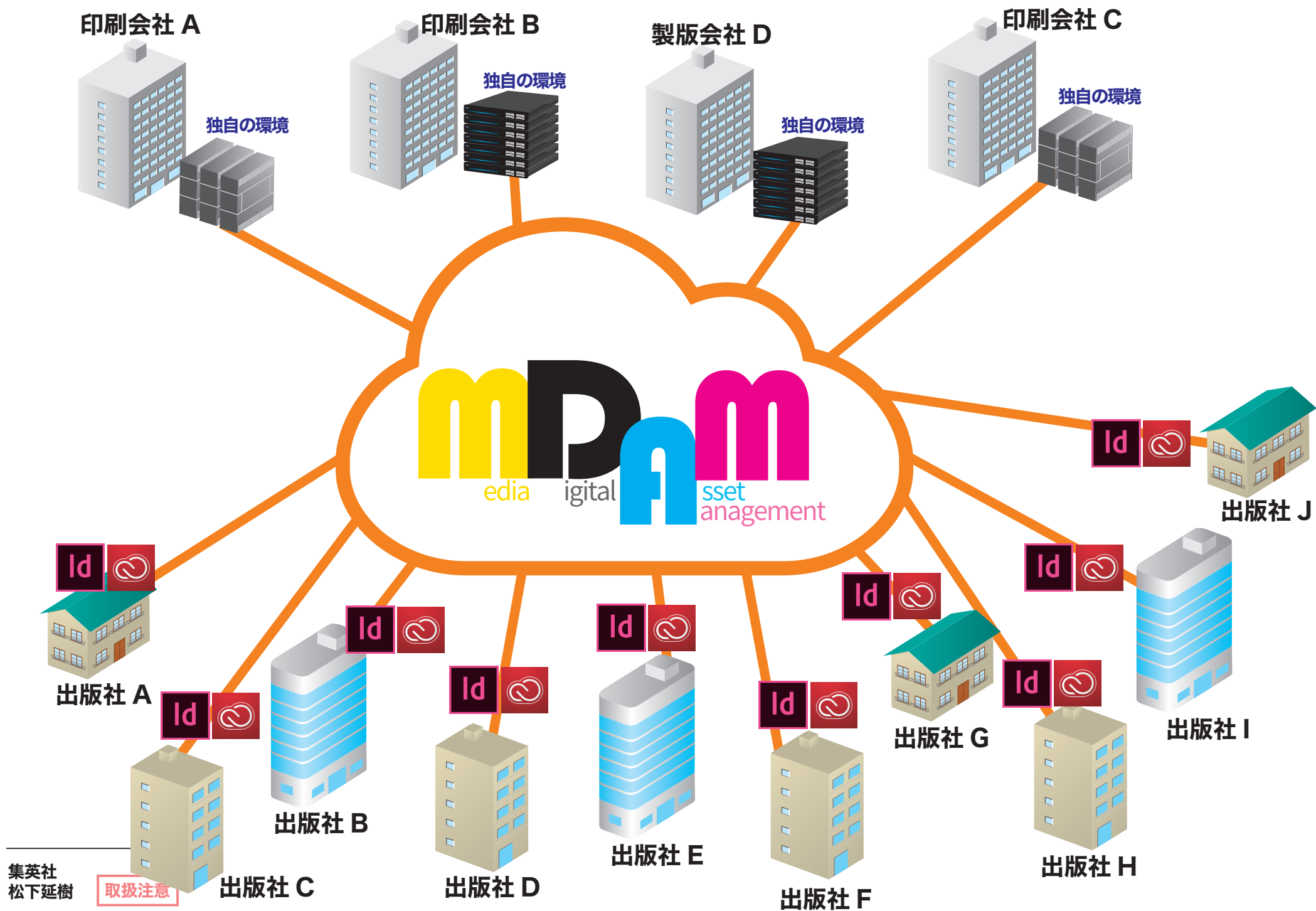


ビジネス面では ...

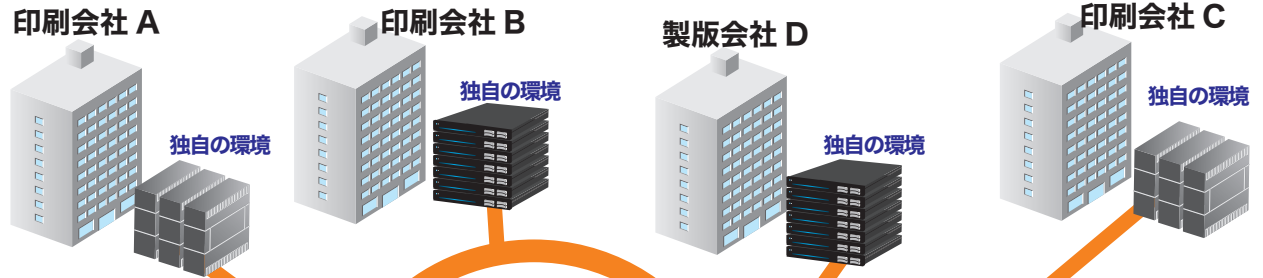
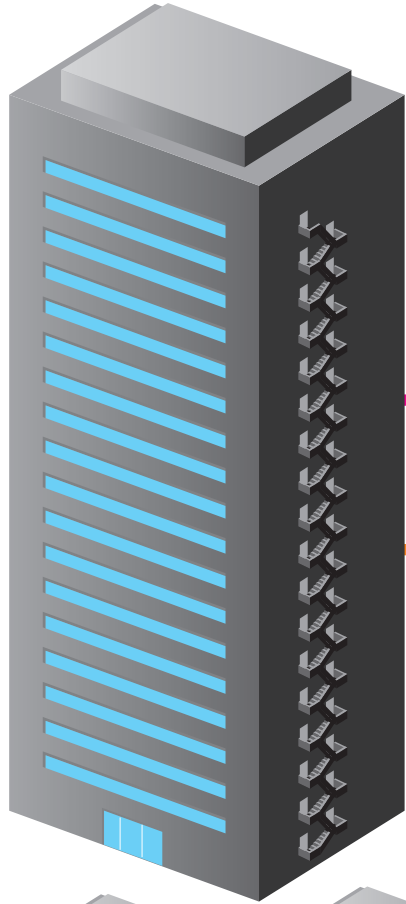
# プラットフォーム “データ手配をお願いします”

プラットフォームがもっとも統一された DB を所持することに。



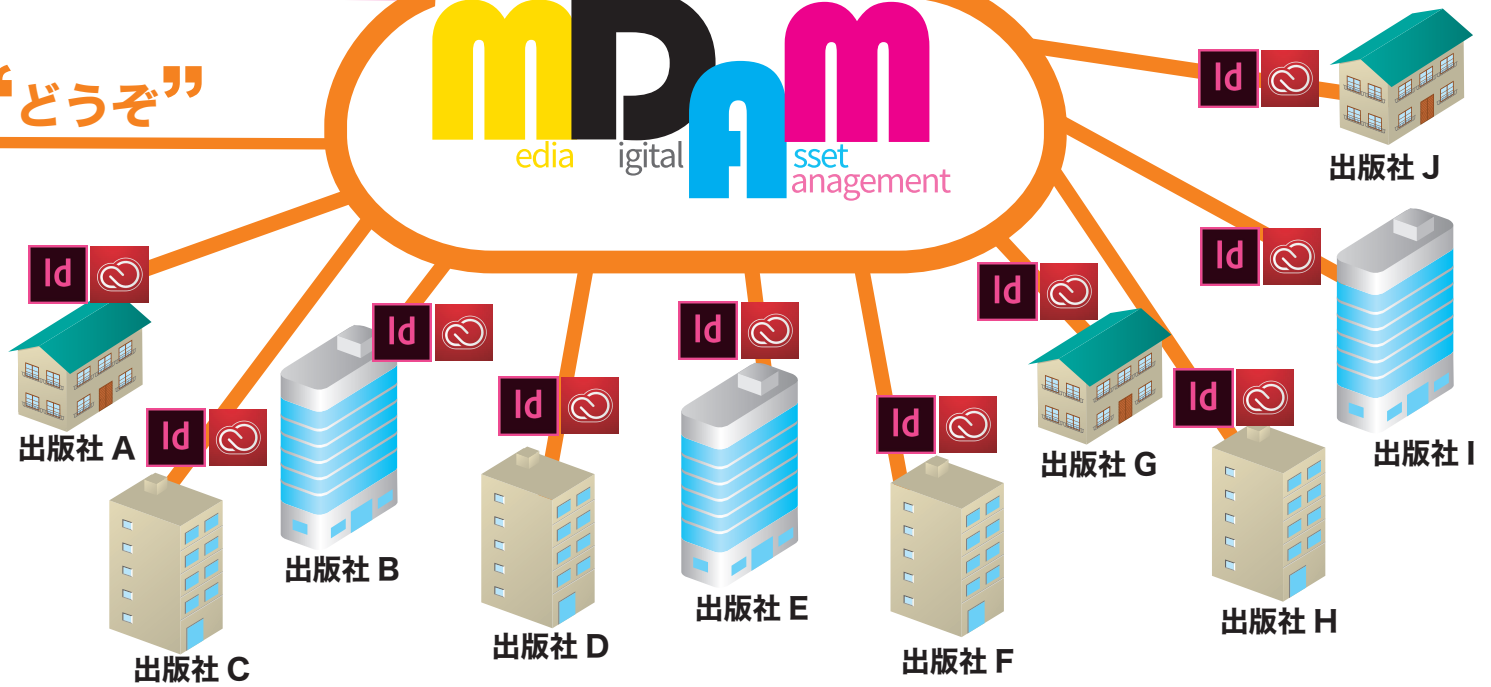


# プラットフォーム



“データ手配をお願いします”

“どうぞ”



複数の出版社・媒体からコンテンツデータの提供を受けたい  
Web など外部のサービスへ

# DNP との協業 (2021.7.8)

https://www.dnp.co.jp/news/detail/10161222\_1587.html

未来のあたりまえをつくる。  
**DNP**

DNPグループ・拠点 > 採用 > よくあるご質問 > English > 検索  お問い合わせ >

Discover DNP > 企業情報 > 技術/研究開発 > IR情報 > サステナビリティ > **ニュース >** ソリューション/製品・サービス >

ホーム > ニュース > 集英社とDNP 出版DXに向けた「MDAM」導入促進に関する基本合意契約を締結 | ニュース

## 集英社とDNP 出版DXに向けた「MDAM」導入促進に関する基本合意契約を締結

出版業界の制作ワークフローの標準化とコンテンツの多角的な利用を推進

ニュースリリース > 製品・サービス > 出版・電子出版・教育 > 2021年7月29日

 いいね!  シェアする  ツイート  共有する  メール  印刷

株式会社集英社(本社:東京都千代田区)と大日本印刷株式会社(本社:東京都新宿区 以下:DNP)は、雑誌・書籍の編集制作支援機能とアセットマネジメント機能を兼ね備えた総合誌面制作プラットフォーム「MDAM(エムダム)」の出版社等への導入促進に関する基本合意契約を2021年6月に締結しました。

MDAMは集英社が中心になって開発したもので、誌面を構成する画像やテキスト等のデータを一元管理できるプラットフォームです。特集や記事ごとの進行管理・編集が可能で、編集者やデザイナーはこのプラットフォームにアクセスして入稿や校正等の作業を行うことができます。

講談社や小学館など大手出版社が採用し発展させてきましたが、今回の基本合意によって、さらに多くの出版社に導入の機会を提供することが可能になります。DNPは、これまで出版印刷・商業印刷等に広く携わってきた経験・ノウハウを活かし、出版社をはじめとする各企業がMDAMを導入する際の業務設計から運用までの支援を行います。



# 集英社、講談社、小学館 3 社による取り組み (2022.3.8)

<https://www.shueisha.co.jp/wp-content/uploads/2022/04/release22.04.15-.pdf>

## 集英社

2022 年 4 月 15 日

### 講談社、小学館と戦略的業務提携を締結

～MDAM を基盤に雑誌コンテンツを使った新規サービスの創出を目指す～

株式会社集英社（東京都千代田区）は、株式会社講談社（同文京区）及び株式会社小学館（同千代田区）と、3社が共通で使用している雑誌・書籍の編集制作支援機能とアセットマネジメント機能を兼ね備えた総合誌面制作プラットフォーム「MDAM（エムダム）」から、雑誌コンテンツを使った新しいサービスの創出を目指し、2022年3月8日（火）に戦略的業務提携を締結いたしました。今後は戦略委員会を設置し、MDAM を基盤にした新しいサービスの企画・設計を行います。

#### ■業務提携に至る背景

雑誌のコンテンツは、すでに雑誌の紙版・電子版だけではなく、媒体の Web や SNS、外部配信サービスなど多くのメディアに多角的に展開されていますが、コンテンツの価値を生かした新しいサービスの創出は長年の課題でした。また、サービスの元となるコンテンツも各社ごとの環境で管理しており、それが総合的なサービスの設計においてハードルとなっていました。しかし、複数の出版社が MDAM を採用することで共通の基盤を持つことができ、新しいサービスを創出する環境が整いました。そこで3社（集英社・講談社・小学館）は協議をして新しいサービスの創出を実現するために、さらに各社の知見・技術を持ち寄る必要があると判断し、業務提携をするに至りました。

MDAM の強みは、コンテンツメーカーである出版社自らが開発・運営をしていることであり、出版社がより主体的にサービスを創出する上で大きな武器になると考えています。

#### ■業務提携の主な内容

MDAM 戦略委員会を設置後、3社（集英社・講談社・小学館）から委員を任命し、MDAM を基盤とする新しいサービスの企画・設計を行います。また、今後は様々な企業様にも協業・共創を呼びかけてまいります。